

700-0985
岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所ビル 2F
(一社)岡山ビルメンテナンス協会 青年部会
TEL: 086-225-8660
Eメール: okbm1@lime.ocn.ne.jp



32号

編集・発行: 一般社団法人岡山ビルメンテナンス協会 青年部会 広報委員会
平成 27 年 8 月 21 日 発行 (通算 32 号)

岡山青年部会だより

北濱さん3位! 藤原さん上橋さん堂々BC中国大会

平成27年6月5日、島根県松江市の松江テルサにおいて、第13回目となるビルクリーニング技能競技中国大会が一般社団法人島根ビルメンテナンス協会主催で開催された。

ビルクリーニング技能競技中国大会は中国地区でナンバーワンのビルクリーニング技能士が誰なのかを決めるコンテストであり、二年に一度だけ開かれる祭典である。大会にエントリーしたのは各県の予選を勝ち抜いたビルクリーニング業界の手練れ(でだれ)16名。

その手練れたちが周囲の期待を背負い、背負った重さに応えたいと願い、また自身の内からもどうしようもなく湧いてくる「勝ちたい」という正直で強い想いを胸に、勝つための訓練を重ねて重ねて積み重ねて出場してくるのである。たつたひとつの玉座を巡る争奪のいかに熾烈であることか。選手にしてみれば祭典でなく戦地であるかもしれぬ。かつて名門松平家の



中野本部長(前列中央)をはじめ太会役員と選手による記念撮影

後列 ゼッケン9 藤原選手 後列 ゼッケン15 上橋選手
前列 左から5番目 北濱選手

技能検定の課題1「床表面洗浄作業」をベースとしている。ベースとし、難易度を高めたものである。もともと「床表面洗浄作業」は我が業界の精神性をコンパクトにまとめた構成であるがゆえに、準備から後始末までの全工程において、安全性、品質、技術、生産性、配慮、モラルなど、プロとしての様々な能力値がそこかしこで測定できる仕組みとなっている。審査員はそれぞれの項目ごとに、ひとりひとりの選手の業(わざ)を見つめて測り、粛々と採点をしていくわけである。

そのような採点型のコンテストにおいて重要なのは選手が公平に競合できる環境づくりでなからうか。交代で課題にアプローチしていく中で競技順序に起因する不公平があつてはならず、どの時間の選手も同じ状態のコートで課題に臨めなければならぬ。それは当たり前前のことなのだが、その当たり前の状態に環境を整えるのが案外難しい。環境は生き物であるからだ。今回島根協会のみなさまは公平な土壌づくりという難しい仕事を高いレベルで達成してもらえたと思う。敬意。

審査の中身も少し。これまで県予選の審査、あと新潟まで出向いて全国大会の模擬審査をさせていただいたことはあるものの、こと中国大会に関しては審査員席に連座するのは今回が初めてのことであつた。全競技が終了した後の審査員会議には少々びびつて赴いた。紛糾するのだろうか。納得がいけないと誰か机を叩き割らないか、蹴り飛ばしてひっくり返さないかとどきどきし、ま、それは冗談だが、実際の審査委員最終選考は藤田審査委員長の采配の元で紳士的に推移した。



宮下岡山協会長を囲んで(表彰式後)

技中国大会を6月5日の1日限りの体験としてはとらえていないのを確認した。彼らにとっては6月5日の当日はもちろんのこと、中国大会への出場が決まった日から6月5日までの全ての日々が「中国大会」という体験であつたことを、それぞれの言葉で書いていた。それはあたくも成長のストーリーを読むようで嬉しかった。そして体験に感謝し未来に活かしていくことを書いていた。いわば過去現在未来への終わらないストーリーである。なんと素敵な話であるだろうと思う。

昨日当業界における労働力の不足をよく耳にする。なぜ足りないのだろう。人はどこにいったのか。もっと待遇のいい職種にいったのか。もっとや甲斐や夢のある職種にいったのか。当業界において労働力の確保は最優先事項である。働き手が不足するならば各企業が個々に対策を打って解決しなければならぬ火急の課題であることは論を俟たないが、協会という連合体であるからこそできる、単体ではできない取り組みには期待するし、そこに人手が必要ならば積極的に荷担したい。業界の中の人をたいせつにし業界の外の人を呼び込むように働きかける戦略的矢を、今後ますます知恵を絞り連続的矢継ぎ早に世間に向かってアグレッシブに撃ち放つていくべきである。

ビルクリーニング技能競技大会はそのひとつである。業界の真の担い手であるクルーにスポットを照射するのみならず、外に向けても業界の良いイメージをプレゼンスする可能性を秘めたコンテンツだと思ふ。ますます充実を図り整備して盛り上げていくべきだと思ふ。今回出場した16名の選手の健闘を改めて称えるとともに16名の選手が存分に活躍できるステージを実現した島根協会のみならず、岡山ビルメンテナンス協会(一社) 岡山ビルメンテナンス協会 青年部会 広報委員長 麻田 浩

今回、岡山県代表として中国大会に出場された3選手に御寄稿いただいておりますので、「紹介します」。

ビルクリーニング技能競技中国大会を終えて

今回、ビルクリーニング技能競技中国大会に岡山県代表として出場させていただきありがとうございます。初めての中国大会で緊張はしましたが現時点での自分の持てる力を出し切れ、納得のいく競技ができた大会になったと思います。

しかし、自分の実力を出し切っても入賞できないという結果に自分の未熟さを痛感させられた大会にもなりました。

この度の経験を日々の業務に活かし、弊社より中国大会に入賞できる人材を育てると共に自分自身も次回の中国大会ではぶっちぎりの優勝を飾れるように精進していきたいと思っております。

今回、指導して下さった岡山ビルメンテナンス協会の方、講師の方、会社の方、応援して下さった多くの方々、本当にありがとうございました。

株式会社サピックス 藤原 甲太



初めてのビルクリーニング中国大会

岡山大会の時の自分は普段している事だけをすれば良いと深くは考えずただ一生懸命に演技をしておりまして。

中国大会の切符を獲得して私としては、会社内を飛び越えて、会社の看板を背負い一人で戦うことは人生の中の初めての経験でした。

でも、中国大会のコートに立った私は決して一人ではありませんでした。

なぜなら、私の後ろには、常に暖かく見送ってくれた家族、練習に付き合ってくれた会社の上司や同僚、練習の場所を提供して下さった岡山ビルメンテナンス協会の皆様が私を支えて下さいましたので、多少の緊張はしていますが、決して怖くはありませんでした。

結果は華やかな順位ではありませんでしたが、あのような素晴らしい場に立たせていただいたことをとても感謝いたしております。

今回の経験を活かし、日々の業務を今まで以上に取り組んでいこうと思っております。最後にもう一度、協会の方々、会社の上司や同僚達、家族には本当に感謝しております。

ありがとうございます！
株式会社ジェイアール西日本岡山メンテナンス 上橋 理浩

中国大会を終えて

2年に1度の待ちに待った中国大会。岡山予選を終え、広島大会を偵察？に行くと、かなりのかなりのハイレベルに「こゝまでは出来んかも・・・」と撃沈しました。

練習も思う様に出来ず、このハイレベルな戦いの中では勝ち抜くことは無理だろうと思いましたが、前回のミスはタイムオーバーだったので、「タイムだけは時間内に入らなければ・・・」との思いで、トップバッターというだけで緊張しそうですが、入賞も狙っていませんでした。

島根協会の方でしょうか？競技中の私の目の前で、ビデオカメラで下からズームインして撮影するのを見て「オイオイやりづらいではないか」と多少笑いそうになりました。

ワックス塗布作業を始めた時にフラットモップがフラットではないことに気づき、「おかし・・・フラットにならない、根元か？」とどうやっても布が45度になる。

その時、タイムを止めてもらい、「フラットモップのヘッドが」横の向きについていないといけないうちに、縦についている」と言うのと、「隣の方も同じ向きでやっているから、そのまま競技を続けてください」と言われ、内心「ヤバイ！」と思い、猛スピードでワックスを塗った・・・かすれもクロスでごまかした。

結果、タイムを止めて考慮していただき、手を上げるまでの秒数ももったいなかったですが、19分38秒の結果でホッとしました。

入賞発表の時に何となく、「もしかしたら3位かも？」と予感がし、「ゼッケン番号2番・・・」と呼ばれた時には嬉しさと、残念、もう少しで2位、北海道だったのに・・・と入賞は狙ってなかったのに思いました。

行きも帰りのバスに乗り、「選手か？」と言われるくらいリラックスして缶チューハイを飲んだけど、帰りのバスで皆様から色々声を掛けていただいているうちに、「今日でもう終わりなんだな」と思うと本当に寂しい気持ちになりました。

一緒に岡山代表として出場した上橋さん、藤原さんにも出見え、いい経験ができました。応援して下さいました皆様、ありがとうございます。

公益財団法人岡山県愛染会 北濱 宜子

定久さんより研修旅行の懇親会について 原稿をいただきましたので、掲載します。



懇親会レポート

平成27年6月4日、5日の2日間にわたり、島根県松江市で開催されました第13回ビルクリーニング技能競技中国大会in島根の見学を兼ねた研修旅行に岡山青年部総勢12名が参加し、無事研修旅行を終えました。

参加メンバーは大会前日の4日に島根県入りし同日は宿泊するスケジュールであったことから、宿泊先にて懇親会を実施いたしました。

宿泊場所は、玉造温泉「佳翠苑 皆美」で、懇親会も同旅館にて開催致しました。

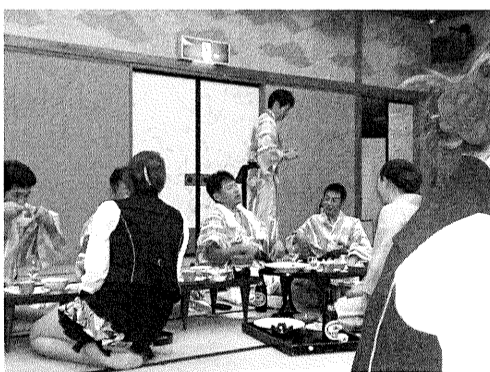
地元の海産物をメインにした料理や地元ワインに舌鼓をうちながら、和やかな雰囲気の中楽しい時間を皆で過ごし、大変盛り上がった懇親会となりました。

日頃は仕事上の付き合いがない部会員も多く、中には初めて参加された方もみられましたが、仕事の話からプライベートな話まで、和気あいあいと語り、大いに懇親を深めることができました。

また、懇親会を通じて会員間の親睦を深めるだけでなく、ビジネスに関する情報交換の場ともなり、とても重要な場となったとも考えます。

この様な機会を得ることが岡山ビルメンテナンス協会青年部のメンバーであることの大きなメリットの一つである為、今後は更に多くの会員各位の参加を呼び掛け、より多くの方の参加を募り、青年部の団結を図っていくことが望まれると感じました。

津山ビル管理有限会社 定久 徹



平成27年度アビリンピック岡山大会 (岡山県障害者技能競技大会)開催

去る6月27日(土)に国立吉備高原職業リハビリセンターにて障害者の方を対象にした11種目の技能競技大会が行われ、今回審査補助員として清掃部門に参加させて頂きました。

岡山では今年度より知的障害者の方に加え身体障害者・精神障害者の方も参加できるようになったそうで、清掃部門は全11種目の中で最多となる12名が競技に臨まれました。

競技項目は弾性床清掃及び机上清掃とし、標準時間は10分で打ち切りなし。ビルクリーニング競技と同じ16㎡の作業面積ですがポリシヤー洗浄やワックス塗布などの作業工程はなく、その代わりにゴミの回収・除塵・水拭き・タオルを色分けしての机上拭きなど日常清掃で行われる作業に近い課題内容となっています。

厳正な審査の結果、森達也選手が素晴らしいパフォーマンスを披露し見事金賞に輝きました。森選手おめでとうございます！

アビリンピック岡山大会を終えての所感として、清掃部門では12名のうち多くの選手が標準時間の10分をオーバーしてしまいました。

課題としてはダストクロスを使用している除塵作業では柄の先端を持つ手で操作している選手が多く、スムーズな除塵作業とは言えなかった点や水拭きの拭き方や房糸のほつれなどが見られ、減点やタイムロスに繋がってしまったのではないかと思います。

とはいえ、どの選手にも言えることですが安全面に配慮された作業を行っており、工程毎の入退室の作法も礼儀正しく素晴らしいと感じました。またどの選手も競技に対して真剣であり、その真摯な姿勢を見ていると心を打たれるような気持ちになりました。

清掃に限らずどんな仕事においてもたとえ技量があっても誠実さがなければ相手には伝わらないでしょうし、そこには健常者も障害者もなと思います。

最後になりましたが私長山は昨年11月より講師としての仕事を受けることとなり、今年1月のビルクリーニング検定試験の準備講習指導や2月のビルクリーニング競技岡山大会の審査員、5月のビルクリーニング競技中国大会出場選手の指導などを経験させて頂きました。

指導に関しては単に誰に対しても同じような指導をすればいいというわけではなくそれぞれの方の特性に適した指導を行うことも大事だと感じ、自身の力不足を日々実感している次第です。

指導員としても審査員としても半人前ですが皆様方のご指導・ご鞭撻を糧に一つ一つ成長できればと考えていますので、今後ともよろしくお願いたします。

公益財団法人 岡山県愛染会 長山 昌広